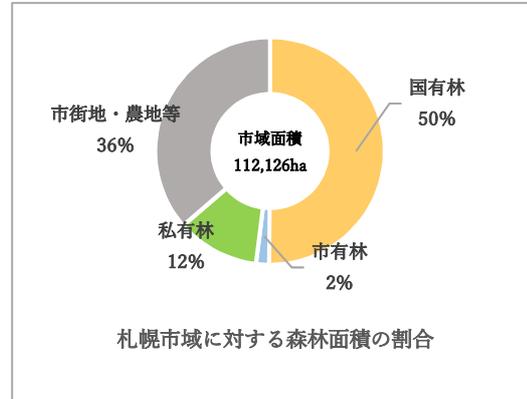
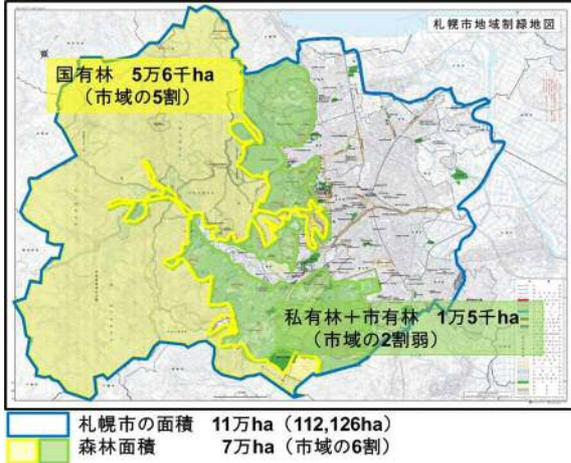


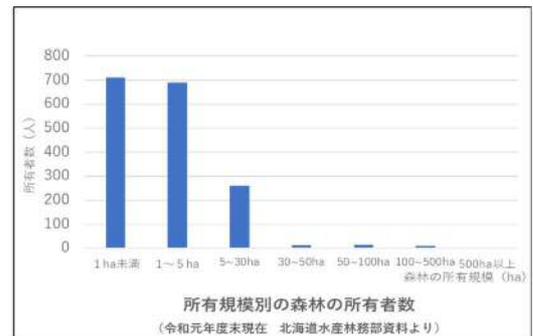
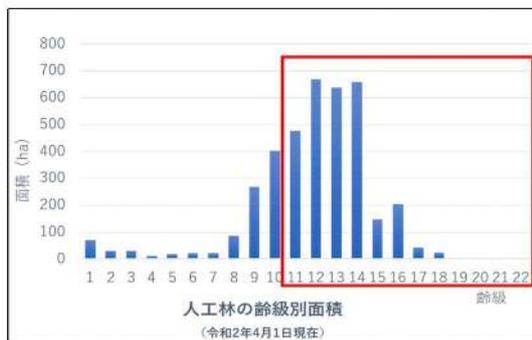
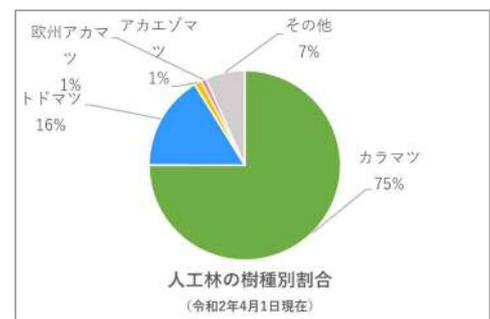
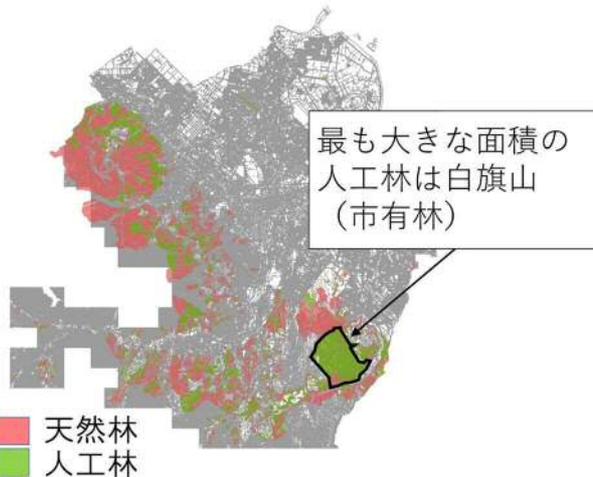
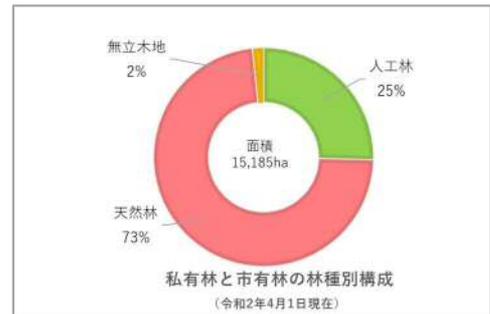
1. 札幌市の森林の面積

- ・市域の約64%が森林(国有林 50%、私有林12%、市有林2%)
- ・森林は、南西部に位置し、広い山岳地域である国有林と市街地の間に私有林が広がる
- ・都心部から近い位置に藻岩山や円山など天然記念物に指定された区域もあり、森林と都市が近接した状況



2. 私有林と市有林の状況

- ・私有林と市有林を合わせた面積のうち、25%が人工林
- ・手稲・西野地区、藤野地区のほか、有明地区に人工林が集中
もともとまとまりのある人工林は、有明地区の市有林(白旗山都市環境林)
- ・人工林の75%がカラマツ林、16%がトドマツ林
- ・人工林の75%が 51 年生以上
- ・面積規模が小さい所有者が多い



3. 人工林における森林整備状況

- ・私有林、市有林ともに人工林の森林整備が進んでいない状況
- ・間伐遅れが私有林・市有林ともに目立つ



人工林の間伐実施状況(推計)
(令和2年4月1日現在)

4. 市有林の整備について

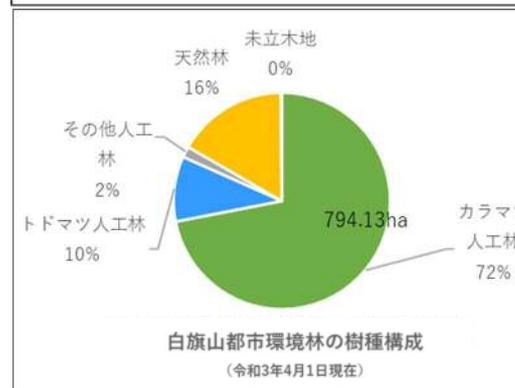
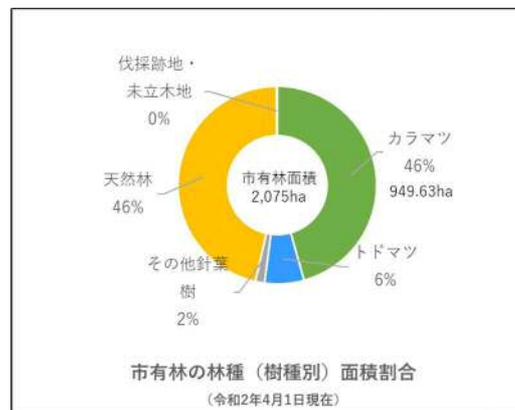
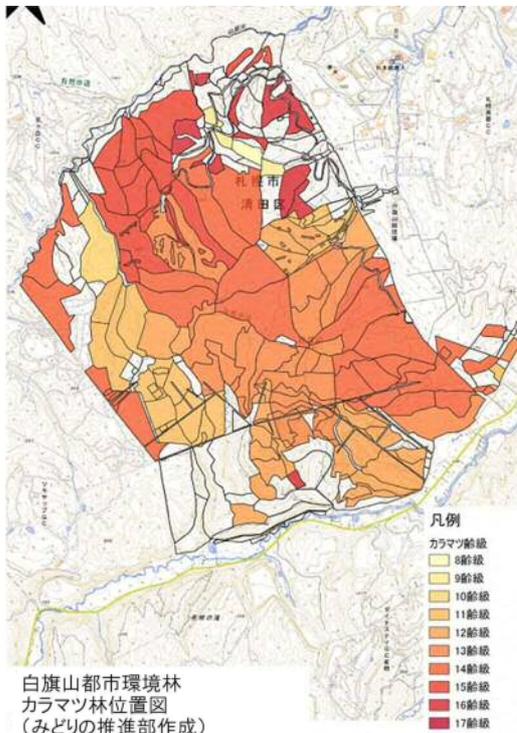
- ・市有林面積は、約 2,000ha。およそ半分が人工林（ほとんどがカラマツ林）
- ・近年の札幌市の整備発注実績

年度	業務内容	発注数	備考
R3	間伐・造林（白旗山）	1	間伐：約 30ha・約 5,000 本
	針葉樹等素材売り払い	2	総計 約 9,000 本、約 1,000m ³ 主にカラマツ材、一部広葉樹材；一般用またはパルプ
R4	皆伐・間伐・造林（白旗山）	1	皆伐：2ha・約 700 本、間伐：約 35ha・約 4,500 本
	針葉樹等素材売り払い	2	総計 約 10,000 本、約 1,200m ³ 主にカラマツ材・一部広葉樹材；一般用またはパルプ

- ・今後、森林環境譲与税を活用し白旗山都市環境林を中心に積極的に人工林の整備を進める方向

5. 白旗山都市環境林(市有林)について

- ・市有林面積全体の約半数を占める約 1,000ha がまとまって立地
- ・大正時代から営林事業を開始。「ふれあいの森」を中心としたレクリエーション機能をもつ森林
- ・カラマツ等が伐期を迎えているが、間伐遅れが目立つ



6. 私有林の整備について

- ・間伐遅れの人工林に対し、森林経営計画による整備のほか、森林経営管理法(H31)に基づく整備を進める方向